

科目名	生涯発達心理学			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科1年	通年	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
人間の発達を胎児から老人までの生涯のスパンでとらえ、どのような心理的発達経過をとるのか、その基礎知識を身につけると共に、自分自身に対する理解を深めることを目的とする。							
〔授業全体の内容の概要〕							
認知・情緒・自我の発達、社会化等について学ぶ。							
〔講師の実務経験〕							
丹波市おひさまにここクリニックにて言語聴覚士として26年間勤務							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
人間の発達を胎児から老人までの生涯のスパンでとらえ、どのような心理的発達経過をとるのか、その基礎知識を身につけると共に、自分自身に対する理解を深めることを目的とする。							
回数	講義内容						
1	発達の概念 (1) 生涯発達とは						
2	(2) 発達理論						
3	(3) 発達の規定要因、発達研究法						
4	(4) 発達課題						
5	胎生期	(1) 胎生期の区分					
6	(2) 胎児の生理、心理学的発達						
7	(3) 母親の心理と胎児の発達						
8	新生児期	(1) 知覚、認知の発達					
9	(2) 社会的能力						
10	乳児期	(1) 知覚・認知の発達、運動の発達					
11	(2) 対人、情緒の発達						
12	(3) //						
13	(4) 前言語的コミュニケーションと言語獲得						
14	幼児期	(1) 幼児期の特色					
15	(2) 遊びによる発達						
16	幼児期	(3) ピアジェの発達段階					前期テスト解説
17	児童期	(1) 児童期の特徴					
18	(2) 知的機能の発達						
19	(3) 学校教育と発達						
20	(4) 感情の発達						
21	(5) 発達障害						
22	青年期	(1) 青年期の特徴					
23	(2) 青年期前期・中期						
24	(3) 青年期後期						
25	(4) 青年期の危機と成長						
26	成人期	(1) 成人期の特徴					
27	(2) 中年期の危機						
28	老年期	(1) 老年期の位置づけと特徴					
29	(2) エイジングとパーソナリティ						
30	まとめ						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名			出版社		
ガイドラン 生涯発達心理学 [第2版]					ナカニシヤ出版		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
筆記試験にて評価する。							